



アクエリアス・マリ
ン・コーティング株
式会社
(Aquarius Marine
Coatings Ltd)
安全データシート
銅コートベー
ス

イノ化学工業株式会社様

1.1. 化学品の名称

製品名 銅コートベース

1.2. 推奨用途及び使用上の制限 エポキシベース - 銅コート防

汚剤

1.3. 安全データシートの提供元の詳細

提供元 Aquarius Marine Coatings Ltd
Unit 10 St Patrick's
Industrial Estate
Station Road
S
h
i
l
l
i
n
g
s
t
o
n
e
D
o
r
s
e

t
DT11 OSA
電話番号 : 01258-861059
Email : info@coppercoat.com

1.4. 緊急連絡先電話番号

緊急連絡先 +44(0)1258-861059 (月曜 ~ 金曜 9:00 ~ 17:00)

危険有害性の要約

2.1. 製品の分類 (EC 1272/2008)

)

物理化学的危険性	区分外
健康に対する有害性	皮膚刺激性 2 - H315、眼刺激性 2 - H319、 皮膚感作性 1 - H317
環境に対する有害性	水生環境有害性 (長期間) 2 - H411

分類 (67/548/EEC または 1999/45/EC)

2.2. ラ



ベル要

素

絵表示

注意喚起語

警告

危険有害性情報

H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起
こすおそれH319 強い眼刺激
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

カッパーコートベース

安全注意事項

- P261 蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P264 取扱い後はよく手を洗うこと。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗い流すこと。
- P305+P351+P338 眼に入った場合：数分間にわたり水で注意深く洗うこと。また、コンタクトレンズを着用しており容易に取り外しが可能な場合はコンタクトレンズを取り外すこと。その後も継続して洗浄を行うこと。
- P321 特別な処置が必要である（ラベルの注意書きを参照）。
- P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P362+P364 汚染された衣類は脱ぎ、それらを再使用する場合には洗濯をすること。
- P391 漏出物を回収すること。
- P501 内容物/容器を国の規則にしたがって廃棄すること。

含有物

ビスフェノールA/F型エポキシ樹脂（分子量700未満）、オキシラン、モノ〔（C12-14-アルキルオキシ）メチル〕誘導体

2.3. そ

詳細な安全情報

の他

の危

険有

害性

特に

なし

3.2.混合物

分類

分類 (67/548/EEC または 1999/45/EC)

皮膚刺激性 2 - H315

眼刺激性 2 - H319

皮膚感作性 4

オキシラン、モノ [(C12-14-アルキルオキシ) メチル] 誘導体
CAS No.68609-97-2

分類

分類 (67/548/EEC または 1999/45/EC)

皮膚刺激性 2 -

H315

注意書きおよび危険有害性情報の全文については第16項を参照のこと。

4 応急措置

4.1. 応急措置の記述

吸入した場合

自身の安全を確保しつつ、応急措置を必要とする患者を新鮮な空気の吸える場所へ移すこと。医師の診断をあおぐこと。

飲み込んだ場合

口内をすすぎ、できるだけ早く患者を病院へ搬送すること。

皮膚に付着した場合

と。

皮膚に貼り付いている場合を除き、汚染された衣服や靴はただちにすべて脱ぐこ

直ちに多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

目を流水で15分間洗うこと。医師の診断をあおぐこと。

銅コートペース

4.2. 急性及び遅発性の最も深刻な兆候及び症状

吸入した場合	胸部圧迫感を伴う喉への刺激のおそれ、暴露により咳や喘鳴のおそれ
飲み込んだ場合	口や喉に赤みや痛みのおそれ
皮膚に付着した場合	接触部位に刺激や赤みのおそれ
眼に入った場合	刺激や赤みのおそれ、多量の流涙のおそれ

4.3. 何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候

医師への注意事項	特になし。ただし、本製品に直接触れたり本製品を吸い込んだり、飲み込んだりした場合は、応急措置が必要になる場合がある。患者の状態が疑わしい場合は直ちに医師の診断をあおぐこと。
----------	--

5. 火災時の措置

5.1. 消火剤

適切な消火剤	火災の状況に応じて適切な消火剤を使用すること。散水によって容器を冷却すること。
--------	---

5.2. 特有の危険有害性

特有の危険有害性	燃焼により有毒ガスを発生。
----------	---------------

5.3. 消火を行う者への勧告

消火を行う者の保護	自給式呼吸器を着用すること。皮膚や眼の露出を防ぐ保護具を着用すること。
-----------	-------------------------------------

6. 漏出時の措置

6.1. 人体へ及ぼす影響に関する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体への影響に関する注意事項 人体への影響に関する注意事項についての詳細は第8項を参照のこと。屋外の場合は

風下から接近しないこと。また、周辺の人を風上に移動させ、危険領域から遠ざけること。汚染区域であることを示す表示を設け、関係者以外立ち入り禁止にすること。内容物が漏出した容器については漏出側を上にし、さらなる漏出を防ぐこと。

6.2. 環境へ及ぼす影響に関する注意事項

環境への影響に関する注意事項 下水路や河川に排出しないこと。流出防止壁により漏出物を封じ込めること。

6.3. 封じ込め及び浄化作業の方法及び機材

浄化作業の方法	乾燥した土または砂に吸収させ回収すること。密閉可能なラベル付きの回収
---------	------------------------------------

容器に移し、適切な方法で廃棄すること。

6.1. その他の参照事項

その他の参照事項

緊急連絡先については第1項を参照のこと。

適切な保護具については第8項を参照のこと。廃棄物処理について詳しくは第13項を参照のこと。

7 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全取扱注意事項

使用上の注意

製品に直接触れないこと。周囲を十分に換気すること。閉め切った室内で使用しないこと。空気中に霧状に飛散させたり拡散させたりしないこと。

7.2. 混触危険物質を含む、安全な保管条件

カッパーコートベース

保管上の注意 換気の良い冷所に保管すること。容器を密閉しておくこと。液体の漏洩を防ぐため、

保管庫には不浸透性の床材を使用すること。

7.3. 特定の最終用途

特定の最終用途 本製品固有の用途について詳しくは第1.2項を参照のこと。

8. 管理指標

8.1. 管理指標

成分に関する情報 混合物については暴露限界値のデータなし

ビスフェノールA/F型エポキシ樹脂 (分子量

700未満) (CAS : 9003-36-5)

成分に関する情報 混合物については暴露限界値のデータなし

8.2. 暴露防止

適切な設備対策

周囲を十分に換気すること。液体の漏洩を防ぐため、保管庫には不浸透性の床材を使用すること。

眼/顔の保護具

保護眼鏡を着用すること。洗

眼器を手近に用意しておくこと。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

その他の皮膚および身体

保護衣を着用すること。

呼吸用保護具

緊急時に備え、自給式呼吸器を用意しておくこと。

9. 物理的及び化学的性質

9.1. 物理的及び化学的性質に関する基礎情報

報

外観

液体

色

白

引火点

>100

9.2. その他の情報

その他の情報

特になし

10. 反応性

10.1. 反応性

反応性 強酸化剤。

10.2. 化学的安定性

安定性 通常の条件下で安定。

10.3. 危険有害反応可能性

危険有害反応可能性 本製品は科学的に安定である。

10.4. 避けるべき条件

避けるべき条件 熱を避けること。

10.5. 混触危険物質

避けるべき物質 強酸、強塩基、強酸化剤

銅コーティング

10.6. 危険有害な分解生成物

危険有害な分解生成物

燃焼により有毒ガスを発生。

11 有害性情報

11.1. 毒性学的影響に関する情報

毒性学的影響

暴露経路：暴露経路およびそれぞれに対応する症状については、本安全データシート第4項を参照のこと。

12 環境影響情報

生態毒性

知られていない

12.1. 毒性

毒性

情報なし

12.2. 残留性・分解性

残留性・分解性 容易に生分解されない

12.3. 生体蓄積性

生体蓄積性

生体蓄積性あり

12.4. 土壤中の移動性

移動性

土壤に容易に吸収される

12.5. PBTおよびvPvBの評価結果

PBTおよびvPvBの評価結果

データなし

12.6. 他の有害影響

他の有害影響

水生生物に毒性 土壤生物に毒性

13 廃棄上の注意

13.1. 廃棄物の処理方法

一般情報

本製品の処理は必ず専門業者が行うこと。

廃棄方法

本製品を使用する者は、廃棄に際して適用される国や地域の規則がこの他にもある可能性を留意すること。

14 輸送上の注意

14.1. 国連番号

国連番号 (ADR/RID)

3082

国連番号 (IMDG)

3082

国連番号 (ICAO) 3082

国連番号 (ADN) 3082

14.2. 国連輸送名

輸送名 (ADR/RID) 環境有害物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く)

輸送名 (IMDG) 環境有害物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く)

銅コートベース

輸送名 (ICAO) 環境有害物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く)

輸送名 (ADN) 環境有害物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く)

14.3. 輸送時危険等級

級

ADR/RID等級	9
ADR/RID分類コード	M6
ADR/RID label	9
IMDG等級	9
ICAO等級/区分	9
ADN等級	9



輸送ラベル

14.4. 容器等級

ADR/RID容器等級	III
IMDG容器等級	III
ADN容器等級	III
ICAO容器等級	III

14.5. 環境有害性

環境有害物質/海洋汚染物質



14.6. 使用者への特別な注意

EmS	F-A、S-F
ADR輸送カテゴリー	3
緊急行動コード	•3Z
危険識別番号	90

(ADR/RID)

トンネル制限コード (E)

14.7. MARPOL条約附属書IIおよびIBC規則に基づくバルク輸送

15. 適用法令

15.1. 安全、健康及び環境に関する当該製品に特有の規則/法令

ガイダンス

上記は、本安全データシートに記載された製品に確実に適用される主要な規制のみを示すものである。当製品の使用者は、これらの規制以外にも適用され得る国や地域ごとの規制があり得ることに注意すること。適用されるすべての国内/国際/地域の規制・法令を参照すること。

15.2. 化学物質安全性評価

銅コートペー ス

化学物質安全性評価は実施されていない。

4.6 その他

改訂日 2015/06/30

危険有害性情報全文
H315 皮膚への刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起
こすおそれH319 眼への強い刺激
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性

上記の記載内容は信頼性に値するものですが、すべての情報を完全に網羅するものではありません。

本書はあくまでもガイドラインとしてご使用ください。上

記の製品の取り扱いまたは接触に起因するいかなる損害に

ついても、弊社は責任を負いません。